

稲作速報

第3号

発行 JA金山 営農部

- ・育苗管理後半ポイント
- ・安全安心米づくり
- ・春農情報
- ・営農トピックス他

いよいよ春本番！、種まき平年並・苗生育も順調
「健苗育成と適期管理」で進めよう!!

新緑の、桜前線到来—— 3月・4月と比較的好天が続いたことで、育苗作業は順調に進んでおり、生育も順調に推移している。今後、本格的な春農作業となってくるので、ややせわしい中でも、育苗管理と本田作業共に万全を期していきたい。又今後共、気象変動に負けない、地域特性を生かした、安定的な稲づくりを進めていこう。

今年雪融けが早かった為、種まきの早い人で4/5より始まったが、平坦・中山間部の盛期は4/16～18、山間部の盛期は4/22～24と見込まれ、ほぼ平年並の状況となっている。現在、平坦部の早い人で緑化を終え、硬化期(下表)に入っており、多くのハウスは出芽や緑化中の状態。今の所大きな失敗もなく、好天続きにより苗生育もやや進み、催芽・出芽共に揃いもまずまずで、ほぼ順調な育苗初期段階となっている。

1 健苗づくりは、今後の管理次第

田植えは、苗令・天候に合わせて行おう

最近の気象は変動が大きく、春の寒暖差は一段と際立つ。安定稲作の第一歩は「健苗づくり」。今後も、ハウスの温度管理や水管理に充分留意し、特に急な好天・高温による「ヤケ苗」や、育苗後半の「ムレ苗」「徒長苗」等に気をつけ、丈夫な苗づくりを進めたい。

又、今年昨年に比べて田んぼの乾きが遅く、今後も周期的にぐずついた天気が予想されているが、今後本格的な春農作業に入ってくる中、あくまでも苗生育に合わせた育苗管理・本田作業・田植え等とする。基本技術を遵守し、「あわてずにじっくり」と、適期適正管理に努めて行こう。

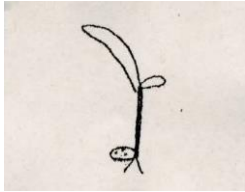
先日の4/20(水)、恒例の「契約栽培米推進大会」が開催され、一年の販売体制もスタートしました。「品質向上」を基本に、栽培基準を遵守し、安定生産販売に努めていきたい。これから、耕起・代かき・田植えと続くが、まずは「健苗づくり」と余裕を持った計画をたて、安全作業を進めよう。

～育苗管理後半のポイント～

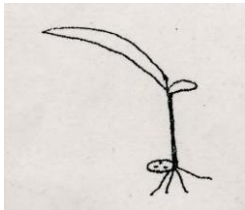
—— 苗生育・天候等に合せたハウス管理で ——

1、温度管理 (ハウスの開閉) — 健苗づくり — 《日中 30℃以下、夜間5℃以上に》

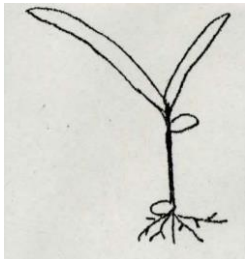
- ①1.5葉～(7日) ・天気が良ければ、朝から早目に(7時頃)ハウスの両側の腰上部分を、平均に開け(30cm 以上)、午後3時頃早目に閉める。
 ・硬化苗(1.5葉期以降)は、徐々に外気にならし、丈夫にしよう。



- ②2.0葉～(7日) ・苗丈が、ほぼ確保(苗丈 10cm 前後)されたら、天候にかかわらず(曇りでも)、朝から、ハウスの腰下部分を開け(半分位まで)、夕方5時過ぎ頃に閉める。
 ・風の強い時は、開け幅を加減し、急激な風はさける。



- ③2.3葉～(5日) ・田植えできる苗丈・苗令(田植前の5～7日前)になったら、日中は全開(下までさげる)とし、苗全体に風が当たる様にする。但し、低温・強風・雨などの時は加減する。(ムレ苗に注意!)
 ・夜も徐々に開け(最初は間口)、田植えの2～3日前には、ほぼ全開とする。



※急にハウスを開けると、風による、葉に褐色斑点が出る場合があります。おかしいと思ったら連絡下さい。
 尚、今年も、苗丈確保とならしは徐々に進めよう。

2、水管理 — かん水は1日1回、朝行う —

- ・水は、雨や低温時(ハウスを開けなくても良い天候)以外は、朝早目にたっぷり、箱底からしみ出す位にかけ、1日もつ様にする。
- ・粒揃いのよい培土等はどうしても乾きやすく、葉が巻く程になる時は、午後早目にかける。

3、追肥 — N成分1g/箱を1～2回 —

- ・LPコートや育苗一発肥料、苗箱まかせを使った人は、追肥はいらない。
- ・肥料入床土や稚苗肥料だけの人は、2葉期とその7日後に追肥する。

※使用方法

肥料名	100箱当り必要量	使い方
液肥2号(5ℓ入)	800cc(8cc/箱)	水100ℓ(125倍)に溶かし、100箱へ、かん水がわりにかける。
稚苗肥料	700g(7g/箱)	水50ℓに溶かし100箱へ散布し、その後すぐに水をかける。
硫安	500g(5g/箱)	

・追肥作業は、できるだけ早朝に行なう。(日中の晴天時に行なうと、「肥料ヤケ」が出る場合がある。)

4、育苗障害(病気等)

— 特に、2葉期頃より見えてくる —

病名	症状	対策
立枯れ菌(フザリウム) 〃 (トルコデルマ)	地際部や根周辺にピンク色カビ発生。地際部に白～緑色カビ発生。	・タチガレン液500倍(又は、タチガレンエース液)を500cc/1箱散布(水50ℓに100ccで、100箱へかける)。 ・高温に注意する。
ムレ苗	葉が針状に丸まり、かん水しても、もどらない。(徒長苗程出やすい)	・タチガレン液(又は、タチガレンエース液)を散布(上と同じ)。 ・温度変化や水のかけ過ぎに注意し、急なならし、はしない。
根枯れ細菌病	第2葉目の途中から、黄変白化し生育停止。	・これといった薬剤はない。 ・高温にしない(30℃以上)。

※第2葉が伸長すると、根からの養分吸収も始まり、病気等が見える時期となります。苗がでこぼこ・色がまばら等の変化がある時は、必ず連絡して下さい。 営農部 52-2892 (長倉携帯 080-2800-8119)

平成27年産米「特A」ランク産地品種

財)日本穀物検定協会は、全国の「米食味ランキング」を発表。今年の「特A」ランクは46産地品種で過去最多。山形県は3品種「はえぬき」「つや姫」「ひとめぼれ」が「特A」で、「はえぬき」は22年連続で特Aを獲得。

ランク	品種名	格付数	産地	連続年数
「特A」ランク (46産地品種)	はえぬき	1	山形(全県)	22年
	つや姫	3	宮城(全県)	6年
			岩手(全県)	3年
			山形(全県)	2年
	コシヒカリ	19	新潟(魚沼)	27年
			新潟(佐渡)	11年
			新潟(中越)	5年
			新潟(上越)	3年
			新潟(岩船)	3年
			福島(中通)	2年
			福島(会津)	2年
			栃木(東北)	3年
			富山(全県)	2年
			福井(全県)	4年
			石川(全県)	1年
			山梨(山梨)	4年
			長野(南信)	4年
			長野(北信)	2年
			岐阜(飛騨)	2年
			岐阜(美濃)	1年
			三重(伊賀)	5年
			三井(全県)	3年
			佐藤(全県)	3年
	山形(全県)	3年		
	岩手(全県)	12年		
	宮城(全県)	12年		
	福島(会津)	7年		
	奈良(全県)	5年		
	愛媛(全県)	1年		
	熊本(城北)	7年		
	宮崎(霧島)	1年		
	秋田(全県)	4年		
	岩手(県中)	1年		
	北海道(全道)	6年		
	北海道(全道)	5年		
	北海道(全道)	1年		
	青森(道北)	1年		
	青森(道北)	1年		
	なすひかり	1	栃木(東北)	2年
	とちぎの星	1	栃木(全県)	1年
	あきさかり	1	福井(全県)	1年
	秋の詩	1	滋賀(全県)	1年
	みずかがみ	1	滋賀(全県)	1年
	きぬむすめ	1	鳥取(全県)	3年
おいでまい	1	香川(全県)	2年	
元気づくし	1	福岡(全県)	4年	
さかひより	1	佐賀(全県)	6年	
あきほなみ	1	鹿児島(東北)	3年	

- 食衛生法改正により、残留農薬のポジティブリスト制度が平成18年施行。農薬散布時は、周囲の作物に飛散しない様充分に注意する。尚野菜の「旗揚げ運動」実施。
- 《農薬飛散防止対策》**
- 風のない時を選び、散布方向や位置に気をつけて散布。
 - 散布機の風量・圧力・ノズル等に注意し、散布量は必要最小限。
 - 飛散しにくい剤型(粒剤等)も考慮。
- 三、農薬適正使用の徹底**
- 山形県農作物有害動物防除基準による、農薬を使用する際の適正使用の通知。主な留意事項として、
- 農薬ラベルの記載事項(作物・時期・方法・注意等)を、充分確認して使用。
 - 散布前後の、気象状況に充分注意して使用。
 - 防除器具等は点検し、充分に洗浄して使用。

平成28年度 水稲栽培管理記録表 (JA-東北)

生産者名	住所		山形県			
	市町村	番地	田区	区	町	番
管理内容	品種	品種	品種	品種	品種	品種
水田状況	水田住所	水田住所	水田住所	水田住所	水田住所	水田住所
田植え	播種日	播種日	播種日	播種日	播種日	播種日
	株数	株数	株数	株数	株数	株数
	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき	代かき
	施肥	施肥	施肥	施肥	施肥	施肥
元肥	元肥	元肥	元肥	元肥	元肥	元肥
	追肥	追肥	追肥	追肥	追肥	追肥
	追肥	追肥	追肥	追肥	追肥	追肥
除害剤	除害剤	除害剤	除害剤	除害剤	除害剤	除害剤
	除害剤	除害剤	除害剤	除害剤	除害剤	除害剤
	除害剤	除害剤	除害剤	除害剤	除害剤	除害剤
本田防除	本田防除	本田防除	本田防除	本田防除	本田防除	
中子	中子	中子	中子	中子	中子	
出穂期	出穂期	出穂期	出穂期	出穂期	出穂期	
収穫	収穫	収穫	収穫	収穫	収穫	
重量	重量	重量	重量	重量	重量	

※進め方
4/上「栽培管理記録表」の記載
7/上「栽培管理記録表」の確認・看板設置
8/下「栽培管理記録表」提出開始

「H28 安全・安心米づくり」に向けて

一、トレーサビリティ「水稲栽培管理記録表」の記載
今年も安全・安心米づくりに向けて、「全員・全水田・全品種」が対象です。
○特別栽培米(出羽燦々・つや姫)は、配布済みの専用記録表に記入し、稲刈り前(8/下旬)に提出してください。
○一般米は、年特申込書に添付の記録表に記入し、秋の米出荷時に提出する。

＝ 春農情報 < 本田管理 > ＝

1、本田準備～ゆとりを持って安全作業！「最上農作業事故ゼロ運動」～

1) **元肥**…4月に入ってから好天続きにより、田んぼの乾きはやや良好状態。乾土効果も期待され、品種・地力に合せ、無理のない量で進める。稲づくりの基本は**穂肥のできる元肥量**で！
品種別元肥量の目安(一般施肥型)10a 当り

	はえぬき	あきたこまち・ヒメノモチ他	美山錦・出羽燦々
成分量	5.5～6.0kg	5.0～5.5kg	4.5～5.0kg
現物 (例:はやぶさ444)	40～45kg	35～40kg	30～35kg

※**基肥一発型**:「スーパーてまいらず」・「やまがた基肥一発」等 40k/10a。
軽量化(15k/袋)は「軽田くん一発」と「軽量楽だね」30k/10a。
※**環境保全型**:特別栽培米等は稲作速報2号を参照。

2) **耕起・代かき**…耕起作業は耕深15cmを目安とし、作土を乾燥させること乾土効果が高まる。代かきは、水管理を容易にし、漏水防止にもつながるので、均平と保水力に考慮する。今後、トラクター使用となるので、**事前の点検とゆとり作業**で進めよう。

2、適期田植え 一苗令 2.5 葉、育苗日数 25～30 日苗で！

1) **箱処理剤の散布**…田植え時に使用するイモチ病+虫防除の箱処理剤は、ブイグットフェルテラ粒剤・嵐プリンス・スピノ粒剤・スタウトダントツ粒剤が中心。※嵐剤については今年度迄の使用となります。散布は、**田植え前日～2日前にハウス内で散布**しておくが便利である。

品名	ブイグットフェルテラ粒剤	スタウトダントツ粒剤	嵐プリンス粒剤	嵐プリンススピノ粒剤
1箱使用	50g	50g	50g	50g
効果・特徴	イモチ+虫防除(イモチ・虫も60～70日残効、アオムシに特効でイネミズ他)	イモチ+虫防除(イモチ・虫も60～70日残効、虫はアオムシ・イネミズ他)	イモチ+被枯れ+虫防除(約80～90日残効)の長期型薬剤	イモチ+被枯れ+虫防除(約80～90日残効)でアオムシ特効)長期型
当用価格(税込)	◎3,170/1kg ◎29,060/10kg	◎3,090/1kg ◎28,390/10kg	◎3,760/1kg ◎33,240/10kg	◎4,160/1kg ◎38,810/10kg

2) **田 植 え**
・田植えは、稚苗で2.3～2.5葉苗で、下葉が黄化(老化)する前に植える。通常活着温度は、平均気温 12～13℃(金山 5/10～)以上であるので、**急がずに植えよう**。
・風のある低温日はさげ、天候の良い日にし、夕方からは早めに終える様に心がける。又、数品種がある場合は、晩生種から植え始めるのが基本。尚、今年も「**晩霜**」に注意する。
・株数は**全品種 60～70 株(坪当り)**を基本とし、植込み本数は**4～5本**で、できるだけ**深植えしない**。(最近、大苗でやや疎植傾向が見られますが、安定した生育量確保の上では無理しない。)

＝ 営農トピックス ＝

1、一 気になる天気予報 ～ 3カ月予報 >

4/25. 仙台管区气象台は、東北地方の3ヶ月予報を発表。当面は、やや気温が高くなる見込みです。
○**5月**=天気は数日の周期で変わでしょう。気温は、平年並または高い確率ともに40%です。
○**6月**=前半は、天気は数日の周期で変わりますが、後半は、平年同様に曇りや雨の日が多い見込みです。降水量は、平年並又は高い確率ともに40%です。
○**7月**=平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。降水量は、平年並又は多い確率ともに40%です。

2、山形県農業試験場庄内支場系統適応性検定試験

今年も、県農業試験場庄内支場からの品種委託展示圃を、**上台の今田政男さんの田んぼ**で試験します。品種(系統)は**酒米 10 点、モチ米 7 点の 17 系統**。特に、山形県期待の酒造好適米「**雪女神**」や「**山形もち 128 号**」など。尚、新品種「**雪女神**」は、持越の松澤信矢さんと合計で**120a栽培試験**します。ぜひ一度ご覧下さい。

＝ 農業用廃プラ回収春企画 ＝

～未来の子供たちに引継ぐ、豊かな自然環境の保全～

今年、第1回目となる廃プラ回収を、下記要領で行いますので、ぜひご利用下さい。(夏・秋企画も予定)
1、期 間 **5/12 (木)～5/18 (水)まで**
2、場 所 **農協営農部前の専用コンテナ**
3、利用料・**肥料袋 1 個 150円**
苗箱(10 枚) 150円
ハウスピーニール(3 間×1 間) 75円
農薬空容器(肥料袋1個分) 150円
4、方法 他
・マルチ類は肥料袋に詰め、口はヒモで結んで搬入。
・ハウスピーニール・苗箱は、梱包して搬入。
・農薬プラスチック空容器も、肥料袋に入れて搬入。
・営農部で受付を済ませてから、積込みを願います。